

【 4月22日(土) 室蘭民報(朝刊) 4面 】

# 怖～い糖尿病合併症

## 食事、運動療法「続けて」

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第30回市民公開健康セミナー」が20日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民が「糖尿病の診断と治療」「合併症が起こる前にできること」などに理解を深めた。

市民ら70人に高田明典循環器内科医長が解説。「糖尿病の初期は自覚症状が無い。健診などで異常があれば、まずは受診を」と呼び掛けた。

その上で、失明の危険がある糖尿病網膜症、最後は透析療法に頼らざるを得な



### 製鉄記念室蘭病院 市民にアドバイス

「糖尿病3大合併症」について解説する高田明典循環器内科医長

い糖尿病腎症、手足のしびれや痛みが生じる糖尿病神経障害の「3大合併症」を防ぐため、日本糖尿病学会が示すヘモグロビンA1cについて7%を切る目標を持つ大切さを強調した。

早期から血糖をコントロールするための治療について「生活習慣の改善が基本」と、食事療法と運動療法を継続する大切さを説明。市民らは熱心に耳を傾けていた。

(松岡秀宣)